

LEARNING LOUNGE

7月28日(木) 14:00~

京都大学

物質-細胞統合システム拠点 (iCeMS=アイセムス)

本館2階 セミナールーム

京都市バス「京大正門前」下車すぐ 「東山東一条」交差点 北西角

事前登録不要

(iCeMSメンバーは研究室経由で要事前登録)

使用言語

講演：日本語(城)、英語(アビラ=ロビンソン)

質疑応答：英語または日本語



なぜ iCeMS の研究は重要なのか？

「ラーニングラウンジ」では、毎回2名の若手研究者が自身の研究についてトークを行います。社会背景に関連づけた魅力的なトークにより、なぜ自分の研究が世界にとって重要なのか、専門外の方にもわかりやすく訴えかけます。

城 綾実



じょう・あやみ

「やりとり」の中の小さな積み重ね：私たちが突き動かすものを探して

挨拶、会議、遊び、団欒… 日々の生活の中で、私たちはいつも誰かとさまざまなやりとりをしています。こうした普段の何気ないコミュニケーションの中には、私たちの判断や行動を決める要因となるさまざまな仕組みが隠されているのです。私たちは日常のやりとりを観察し、浮かび上がってくるその「仕組み」について研究しています。その正体に迫る探検の一部を、あなたも覗いてみませんか。

Seeing the Dynamics of Science Convergence

Knowledge is rapidly growing and simultaneously fragmenting into numerous disciplines, making it difficult for scientists to see the “bigger pictures” of their science. Here I will show how the three-dimensional networking of meta-knowledge—knowledge about knowledge—can help us to see the continuous breaking down of barriers between disciplines in modern science.

Alfonso Avila-Robinson
アルフォンソ・アビラ=ロビンソンウェブサイト
tiny.cc/1l8j

facebook.com/Kyoto.Univ.iCeMS

twitter.com/iCeMS_KU

お問い合わせ先：

高等研究院等事務部 国際企画・広報掛
ias-oappr@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp